

記者会見資料

総合政策部 財政課
(担当 吉澤 22-9331)

1. 件 名

令和4年度当初予算(案)の概要について

2. 内 容

(1) 予算編成の考え方

本市の財政は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による不透明な景気の先行きにより、歳入の根幹を占める市税収入が、徐々に回復の傾向が見られるものの、依然として厳しい状況に置かれており、その一方で、少子高齢化の進展等による扶助費等社会保障関連経費の大幅な増加、さらには地震や台風等の防災・減災対策、老朽化が著しい公共施設の長寿命化対策、及びデジタル変革(DX)の推進など、喫緊の課題への対処が求められております。将来に渡り健全財政を維持しつつ、市民が安全、健康、快適、能率的な生活を営むうえで必要不可欠な行政サービスを提供していくためには、これまで以上に事業の「選択と集中」を推進し、限られた財源を効率的・効果的に配分していく必要があります。

このような状況を踏まえ、令和4年度当初予算は、全ての事業についてゼロベースでの見直しを行う一方、市民の「安全・安心な暮らし」を確保することを最優先事項に掲げ、特に道路・橋梁や公園、学校、保育所等の公共施設における緊急修繕を含む耐震・長寿命化対策について、予算を重点的に配分することとし、市民が暮らしやすく今後も住み続けたいと思えるような、快適で利便性が高く、都市環境と田園環境が調和したゆとりと潤いのある「田園環境都市小山」を築くため、「第8次小山市総合計画」に掲げる7つのまちづくりの基本目標を実現するための諸施策について、SDGsとの一体化を図りながら、効率的・効果的に推進することができるよう予算を編成いたしました。

(2) 予算の規模

令和4年度一般会計当初予算の規模は、前年度比9億円、1.4%増の648億5千万円となりました。

(3) 予算の特徴

① 「田園環境都市小山」の推進

本市の魅力あふれる環境を将来世代に確実につなぐため、新たに「田園環境都市ビジョン」の策定を進め、都市環境と田園環境の調和ある発展を目指す、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

② 防災対策の強化

台風や集中豪雨による大規模浸水被害への対策として、豊穂川の河道の拡幅・築堤をはじめ、調整池の整備や田んぼダムの推進等、豊穂川・杣井木川流域の排水対策の強化に取り組んでまいります。

③ 公共施設の適正管理及び長寿命化

老朽化が著しい道路・橋梁、公園、学校、保育所、消防署等の公共施設の長寿命化対策を強力に推進するとともに、人口減少社会を見据えた公共施設の最適な配置に向け取り組んでまいります。

④ デジタル変革(DX)の推進

市民がデジタル化のメリットを享受できるよう、行政手続きのオンライン化等デジタル変革(DX)を推進するとともに、官民連携によるデジタル化にも取り組んでまいります。

⑤ 産業・都市・教育基盤の整備

令和4年度整備完了予定の「テクノパーク小山南部」、令和4年度計画最終年度の「都市構造再編集中支援事業小山市中心拠点地区」、令和6年度開館予定の「大谷地区中心施設（着工）」の他、小山駅西口の整備等を着実に推進してまいります。

(参考)主な経費の比較

(単位:百万円、%)

性質別	令和4年度		令和3年度		対前年度比		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	構成比
義務的経費	31,819	49.1	31,142	48.7	677	2.2	0.4
人件費	9,965	15.4	10,081	15.8	△ 116	△ 1.1	△ 0.4
扶助費	15,841	24.4	14,697	23.0	1,144	7.8	1.4
公債費	6,013	9.3	6,364	9.9	△ 351	△ 5.5	△ 0.6
投資的経費	7,642	11.8	8,037	12.6	△ 395	△ 4.9	△ 0.8